

園長だより

2024年9月7日

園長 澄川忠男

新学期が始まり一週間が過ぎました。生活のリズムも園生活にすっかり慣れてきました。まだまだ暑い日が続いていますが、子どもたちは元気いっぱいです。

◆「検食」について

先日、ホームページで検食のことに少しだけふれました。今回は「検食（けんしょく）」について少しだけ触れてみます。この言葉自体は、あまりなじみのないものだと思います。

実は、「学校給食法」という法律に、「学校給食衛生管理基準」というものがあり、検食はこの基準に基づき行われます。検食は、子どもたちの食事が開始される30分前までに行い、異物混入や異味、異臭の確認、加熱・冷却処理の適切性、香り、色彩や形態が適切か、などをチェックするための食品衛生点検を実施し、検食簿に記録をつけることで食の安全を守り、品質改善に役立てたりもします。

小中学校では校長が食べます。本園では私が食べます。私が不在の時は、代替りのものが必ず行います。このように、おいしさとともに安全な食の提供に心がけています。写真は検食の時のものです。左側が「検食簿」の紙、右が給食です。小さなお皿に、その日に食べるすべての給食が入っています。

あまり、興味のない話だったかもしれませんね。



◆避難訓練について

今年度は全部で9回の避難訓練があります。2学期最初の訓練は4日に行いました。地震対応の訓練です。

パニックになっても忘れないように、大切なことを紙に書いて、つぼみ組の壁に掲示してあります。いざというときのために何度も訓練をしているのですが、それでもパニックになりがちですので・・・。

絵は、うめ組のお友達が書いた絵の表と裏です。左が地震を表し、右が地震が終わった時を表しているそうです。子どもの感性って素晴らしいですね。



◆ティーチャーズトレーニング

年間に5回、下関市発達支援センターの臨床心理士ほか4名の講師の方のご指導の下、第一幼稚園と第二幼稚園だけでなく、ほかの園の先生方も一緒に研修をしています。毎回宿題が出て、なかなか大変ですが、たくさんの先生方が学び続けています。

